



Museum Of Kyushu Sangyo University
九州産業大学美術館
東区松香台2-3-1

- 用途／美術館
- 完成年月／2001(平成13)年9月
- 所有者／学校法人 中村産業学園
- 設計者／(株)三島設計事務所
- 施工者／鉄建・大成・岩崎共同企業体

九州産業大学の美術館は、地域に開かれた新しい大学美術館のあり方を示した。使いやすそうな大小の展示室と大きなアトリエのような展示空間では、学生や内外のアーティストの作品展が開催されている。芸術を学ぶ学生にとってはうらやましい限りの恵まれた環境であり、大学の意気込みも窺い知ることができる。また、地域とともに活動する姿勢も好ましい。建物は、シルバー基調のモダンで洗練された知的な造形で、居心地がいい。大学や学生のことをよく理解したすぐれた作品である。何よりも芸術を自然体で大学生活の一部に取り込んだ成果を評価したい。

(審査委員長 佐藤 優)

THE 18th FUKUOKA URBAN BEAUTIFICATION AWARD 一般表彰



Setsuzo Katayama Photo Studio

片山撰三写場

中央区大名2-6-30

- 用途／店舗(スタジオ)
- 完成年月／1975(昭和50)年
- 所有者／片山 撰三
- 設計者／豊永建築事務所、橋本慎蔵
- 施工者／松尾建設(株)
- 関係者／小田部泰久(彫刻家)

セットバックして提供された空間、そこに植えられた大きな樺、壁をはい上がる蔦、少し奥まったひかえめな玄関…。30年近く前に建てられたものであるが、現在にも十分通用するデザインである。

店舗の入れ替わりの激しい大名にあつて、壁の雨だれの跡さえ味わいとなるほど、しつくりとまちに馴染んでいる。インスタント、使い捨て、デジカメ、最近に至っては携帯電話にさえカメラ機能が付き、写真を撮ることが日常のなことになった今日でも、「写真館」で撮る写真は特別である。

七五三や誕生日、成人のお祝い…。ドアの上の天使像は今までいくつかの祝祭を見守ってきたのであろうか。またこれからいくつの喜びを分かち合つてゆくのだろうか。

(審査委員 鹿野 至)

